

ギニア月報(2023年4月)

主な出来事

【内政】

- 12日、ボケ州で火力発電所の電力供給不足に抗議し市民がストライキ。
- 12日、暫定政権首相と市民・政党勢力である Forces Vives de Guinée (FVG) の間で対話。
- 24日、ギニア労働組合運動は年金や住宅手当等について要求書を政府に提出。
- 25日、暫定政権はギニア軍情報部長が、重大な不正行為により解雇されたと発表。

【外政】

- 18日、ルワンダ大統領がギニアを訪問し、暫定大統領と会談。
- 25日、外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、トーゴを訪問し同国大統領と会談。

【経済(経済協力含む)】

- 10日、暫定政府はセク・トゥーレ国際空港の拡張・改修工事を開始。
- 11日、中国外交部アフリカ局長がギニアを訪問し、暫定政権首相等と会談。
- 13日、世界銀行は地方自治支援プロジェクトへ 8,100 万ドルを拠出することを表明。

1 内政

- ・ 12日、ボケ州で火力発電所の電力供給不足に抗議し市民がストライキ。これにより交通が遮断され、近郊の鉱山が操業を停止した。
- ・ 12日、コナクリイسلامセンターにおいて、イسلام教指導者の仲介により、 Gum 暫定政権首相と市民・政党勢力である Forces Vives de Guinée (FVG) が対話。
- ・ 24日、ギニア労働組合運動は十数の労働組合センターからなるプラットフォームとして、年金や住宅手当等に関する要求書を政府に提出。今後数週間以内に交渉が開始される予定。
- ・ 25日、暫定政権はギニア軍情報部長イスマエル・ケイタ中佐が、重大な不正行為により解雇され軍事裁判所の処分に付されたと発表。

2 外交

- ・ 18日、ルワンダのカガメ大統領がギニアを訪問し、ドゥンブヤ暫定大統領と会談。両国は政治経済の領域で協力関係を強化することで一致した。

- ・ 25日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は、トーゴを訪問し同国のニヤシンベ大統領と会談。トーゴ側はギニア暫定政権への支持を表明し、両国の関係強化に合意した。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 10日、ギニア暫定政府はセク・トゥーレ国際空港の拡張・改修工事を開始。総工費は約2億ユーロ。同工事は同空港の国際競争力を高めることになると政府関係者は発言。
- ・ 11日、中国外交部アフリカ局長がギニアを訪問し、 Gum 暫定政権首相等と会談。両国関係の強化、及び中国企業がギニアで実施する鉱山開発について議論された。
- ・ 13日、世界銀行は地方自治支援プロジェクトに 8,100 万ドルを拠出することを表明。水分野で気候変動に強い地域開発を行うための技術支援を実施する。